

# 2035年での福島県の安全都市宣言と元住民の全員の帰還達成

<具体的な施策>

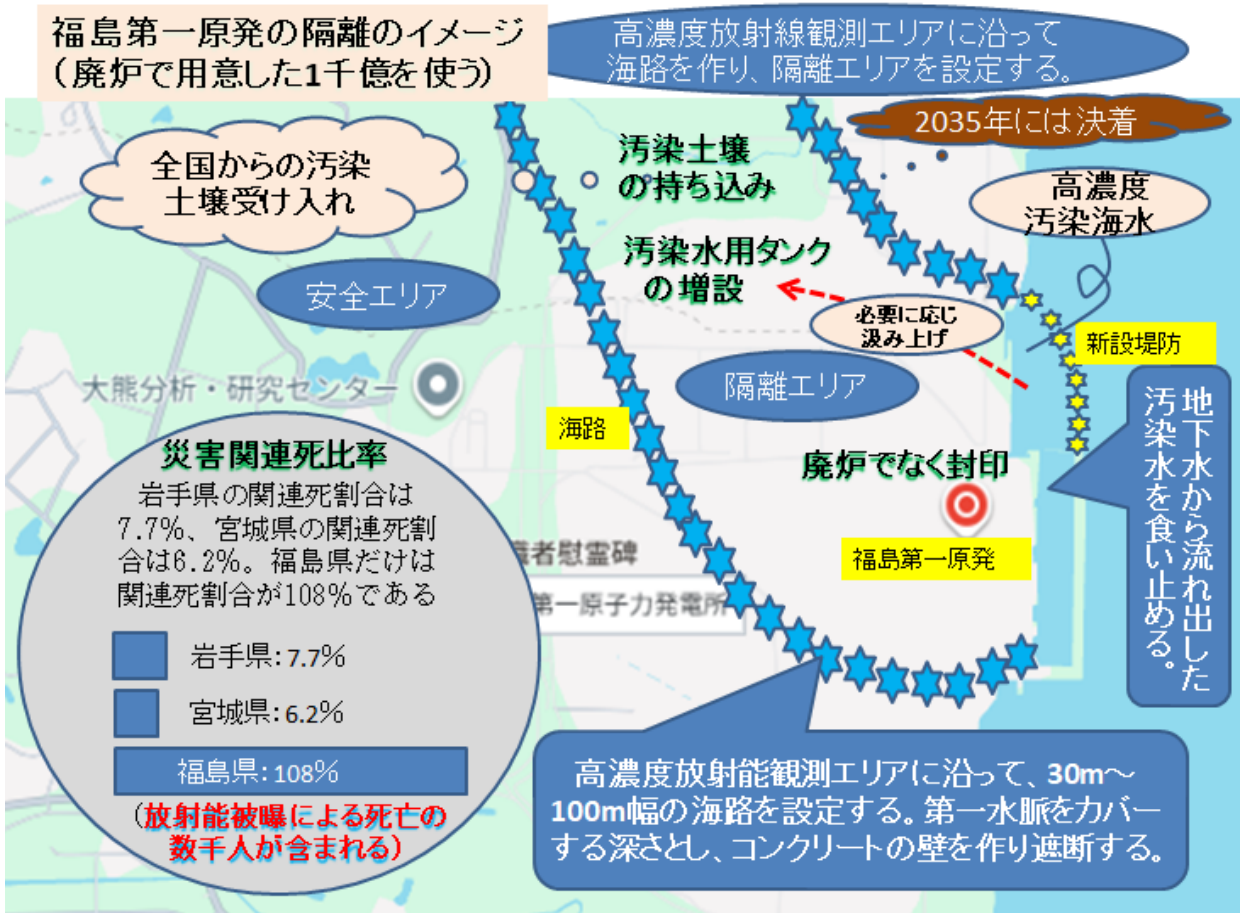
1. 福島第一原発の廃炉から「隔離・封印」への転換で、全住民の帰還達成。
2. 木造人工島のブルーカーボンの世界中への展開で 2040 年頃に目標達成。  
(世界のお手本となる最も進んだ安全安心な SDGS スマート都市を構築する。)

## ————— 1. 廃炉政策から「隔離・封印」への転換 —————

廃炉では、100年たっても住民の完全帰還は難しいのではないのでしょうか？  
 なぜなら、デブリの取り出し、移動、保管の技術シナリオがまったくなく、  
 廃炉に100年以上かかると考えられるからです。

また、数十年後、地下水に流れ出した高濃度放射性物質が海洋に流れ出すと、  
 トランプ大統領がいうように、福島に永遠に住めなくなる可能性があります。  
[https://www.garden-field.com/\\_files/ugd/954e39\\_4490f1b2b0a947ff92e67c08ec6f53a4.pdf](https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_4490f1b2b0a947ff92e67c08ec6f53a4.pdf)

一方で「隔離・封印」政策では、海路（隔離）設置に10年程度の歳月を要しますが、その後は（隔離エリアを除き）福島県全土にて、安心安全な暮らしができ、風評被害もなく、10年程度で元住民の全員の帰還が可能になります。



また土地を奪われた人達には、防波堤&防風林を設定した上で、木造人工島の洋上住宅（地震・津波に強く、土地の買収が不要、基礎工事不要（自然と水平が出る）、千年維持、低コスト）を設定し、「海産物農業」や「木造人工島のブルーカーボン」の育成等で生計を立てることができます。

「海産物農業」とは、海産物ながら、農業感覚で育成や収穫ができるもので、魚の養殖の場合は、木造人工島の間や木造人工島の下に大規模な網を敷いて、魚が広範囲に回遊できる魚牧場を簡単に作ることができ、網を海面近くまで引き揚げて、木造人工島上から「たも網」で魚を収穫できます。

また、木造人工島から養殖ユニットをワイヤーで吊り、海面付近に引き上げて、ひざ下または股下程度まで海水に浸りながら、海中に潜らずに、農業感覚で各種の作業ができるので、養殖とは言わず、「海産物農業」と呼ぶようにしています。（以下の URL の P4～P6 をご参照下さい。）

[https://www.garden-field.com/\\_files/ugd/954e39\\_9d5829003e6b41edad694b730159e5b0.pdf](https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_9d5829003e6b41edad694b730159e5b0.pdf)  
（「木造人工島のブルーカーボン」は P 1 ～P 2 及び以下をご参照下さい。）

## ————— 2. 木造人工島のブルーカーボンの世界的な普及 —————

私たちは複数の「地球システムの転換点」に急速に近づいており、それが世界を変化させ、人間と自然にとって壊滅的な結果をもたらす可能性がある」と、英エクセター大学グローバルシステム研究所のティム・レントン教授は述べておられます。

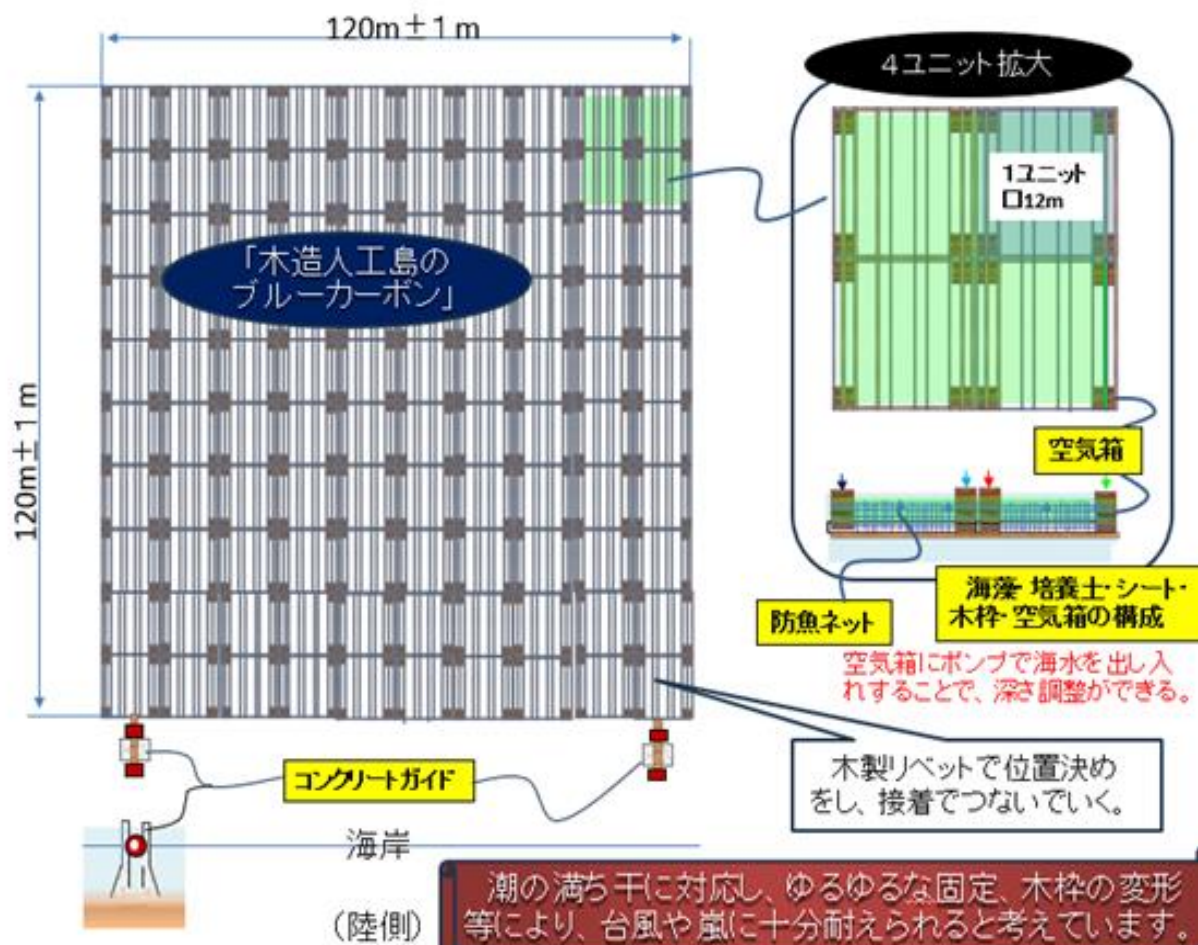
「地球システムの転換点」とは、従来と全く異なる天候や環境になってしまうということで、まず熱帯のサンゴが最初の転換点となり、大規模な白化現象に見舞われつつあるようです。

WMO によれば、世界平均の CO2 濃度は 2023 年の 420.4ppm から 2024 年には 423.9ppm に上昇し、3.5ppm (0.83%) の増加となり、このままですと 2028 年にも、平均気温の上昇が抑制目標の 1.5℃の閾値を超える（＝各種異常気象の急加速）とのことでした。

早急に必要になるのが、再エネ機器や原子力発電ではなく、我々生物が生きていく上で、また人間による各種生産活動による CO2 の排出が全体の約 40%程度あるので、最初にあるべきなのが CO2 の大規模削減技術です。

以下の URL をご参照下さい。

[https://www.garden-field.com/\\_files/ugd/954e39\\_9bb2f647c4364a33b69d03e7482b22fa.pdf](https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_9bb2f647c4364a33b69d03e7482b22fa.pdf)



「木造人工島のブルーカーボン」を南極や北極を含む、世界中の可能な沿岸部や無人島周り等に展開し、ある程度は化石燃料を使い続けながらも、2040年頃にはカーボンニュートラルを達成したいと考えています。全国の都道府県市町村様のご協力が必要で、海の無いところでも木材を提供することができ、計画的な植林を行い、森林の好循環にもつなげていきたいと考えています。

まず、可能なところから全国一斉に始め、次に姉妹都市を通じて、世界中に早期に展開したいと考えており、早期にお取組をいただいたり、普及貢献度の高い都道府県市町村様には、下記の「特許対価」から莫大な資金を寄付したいと考えています。（特許情報は以下のURLをご参照下さい。）

[https://ipforce.jp/patent-jp-P\\_B1-7675467](https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7675467)

技術的な難度はなく、特許図面を参照しながら、各都道府県市町村様にて、独自の工夫を凝らし、他所の取組での良いところは真似て、よりよい形にすることで、世界標準的な「木造人工島のブルーカーボン」に淘汰形成されていくと考えています。

早急なお取組をぜひお願い致します。

## 補足説明

以下の URL では、3.11 での福島第一原発事故による放射線被曝被害の実態が赤裸々に浮き彫りにされておりますので、イマサラですが、もしよろければ斜め読みでけっこうですので、ご一読下さい。

<https://hirukawamura.livedoor.blog/archives/6190838.html>

『日本国民は欺されてきたのだ。フクイチ事故による死者は、急性被曝死者だけで数千名。そして晩発性被曝死者、心筋梗塞など循環器系障害による死亡、そして10年以上の潜伏期間を経て、数十万人の甲状腺ガン患者、乳癌患者を出している。

さらに数十年後には、あらゆる癌が激発してくるのである。死者は数百万人のオーダーを超えるだろう。』を受け、P3の修正版を作成しました。

[https://www.garden-field.com/\\_files/ugd/954e39\\_4490f1b2b0a947ff92e67c08ec6f53a4.pdf](https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_4490f1b2b0a947ff92e67c08ec6f53a4.pdf)

このままの「廃炉」コースでは、おそらく100年経過しても、何も解決しませんが、「封印・隔離」コースにすれば、おそらく10年程度で、2035年頃に全住民がもどれるような環境ができ、東電様のご対応は、日本だけでなく、中国を含む世界中から賞賛されるのではないかと考えています。

先の戦争では、メディアが国民を騙し続け、広島・長崎に原爆が投下されるまで、戦争をやめなかったがために、その分で数多くの死傷者を出しましたが、福島第一原発事故でも、正しい情報を流していれば、放射線被曝で死亡する人も最小に抑えられたかと思うと残念でなりません。

電通—メディアの報道の問題もありますが、まず東電様が正しい情報を流す必要があったのではないのでしょうか。（東電様の責任はとてつもなく大きい）

強制起訴された東電の旧経営陣が、3.11の「大津波は予測できなかった」ということで、最高裁でも無罪となりましたが、あれだけのダメージの大きい（後遺症も大きい）事故を引き起こしても、誰も責任をとらないということでしょうか？

想定外の要因なら、どんな原発事故も許されることを意味しています。

前提が責任の所在が明確でないものであれば、今後の原発の在り方として、想定外の地震に対する耐震システム・想定外のドローン等による対テロ対策・想定外の超大津波対策等の「絶対的な安全構造」でなければならないということです。

すなわち、国民目線では「絶対的に安全な構造」の原発が求められており、そうでなければ、全国民の意思として「稼働してはならない」ものです。

---

川崎市宮前区：ガーデンフィールド株式会社 代表 廣田祐次

ホームページ：<https://www.garden-field.com/>

メール：[hirota.yuji@garden-field.com](mailto:hirota.yuji@garden-field.com) 電話：090 - 5203 - 8627

---